



目次	
会長挨拶	1
就任挨拶	1
県退職校長会総会報告	2
会務報告	2
役員名簿	2
全連退総会報告	3
現職校長会情報	3
生き生きライフ	4
題字	19年度入会 安藤好子(元 名古屋・野立小)
絵	19年度入会 長坂正延(元 岡崎・葵中)

人が羨む手作りの講を

会長

加藤 善章



江戸の町屋が共生の思想を持って繁栄したのは「江戸しぐさ」を伝える町屋講による、越川禮子氏は「江戸の繁盛しぐさ」に書いています。さらにその講のメンバーを講中、講師をお講の長と呼び、町衆の生き方を学び、切磋琢磨する場であり、町屋の人々にとって講に入れることは名誉なものであった、と趣旨は続いています。

翻って考えてみますと、各学校の職員会、県小中学校長会や県退職校長会も江戸の講システムととてもよく似ているように思われます。それぞれの学校や会が今日の姿に発展したのは「お講の長」と言われる方々の一期一会の生き方とその在り方の継承・伝達の賜物であると思います。

でも、この「お講の長」をお務めになり、私共の講中を導いて頂きました岩間敏和様が五月十日に急逝されました。皆様と共に前会長様のご功績を称え、心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

大変筆が遅れましたが、昨年続き不肖私が、会長職という大役を総会において仰せつかりました。間に合いました。役員の皆様を始め、会員の皆様のお力添えを頂き、職責を全うしたいと存じます。よろしく願います。

ところで、共生の社会づくりに役立つ人々を育てる教育活動に必要なしぐさも、退職された皆様が加入したいと思われる退職校長会(講)の運営も、江戸しぐさを見習わなければなりません。一人一人の会員が、それぞれの地域において人が羨むような講を立ち上げ、社会に貢献できる退職校長の在り方を創造して頂ければと存じます。そして一つの講の総和が県退職校長会総体となればと念じます。新たにになりました広報紙面の充実と「教育の日」制定を事業の中心に運営してまいります。格別のご理解とご協力をお願いします。

就任あいさつ



悠然とゆったりと

副会長

内田 久幸

古稀を迎えた四月の誕生日の運勢欄に、「過去を追わず、将来に取り越し苦勞せず、現在悠然として大吉」とあり、納得した次第です。

本会の常任理事を退任しての二年間、諸先輩の悠然とし



就任あいさつ

より身近な活動の充実を

副会長

安藤 公明

三月の総会で、副会長の大使を仰せつかりました。微力ではありますが、会の発展のためにがんばってまいりたいと思っていますのでよろしく願っています。

退職して以降、本会の常任

た口ぶり生活ぶりに接し、これからの生き方を学びました。また、干支の牛は、これからの生き方を指し示してくれるものだと言われています。高村光太郎の長編の詩『牛』に「……がちりがちりと、牛は砂を掘り土を掘り石をはねとばし、やっぱりのろのろと歩く、牛は急ぐことをしない……」とあります。速ければいい時代は終わった気がします。

この一年、会員の皆様方のお力添えをいただき、副会長という大役を、悠然とゆったりと全うしてまいりたいと思います。よろしく願います。

理事として仕事に携わってきましたが、会員期間が七年となった初年次会員の一人として、期間が延長し、会員数も年々増加するこれから先、本会の活動が会員にとってより身近なものとなるよう努めてきました。そのいくつかは実施に移されていますが、さらに検討すべき課題も残されていると思っています。

今年度からは、七年会員がすべて揃い、規模も大きくなりますので、さらなる活動充実のために精一杯努力していきたいと思っています。いっそうのご指導・ご支援をお願いします。

平成二十一年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会が、去る三月十九日(木)、名古屋ガーデンパレスにおいて、正副会長・理事・支部長の皆様方のご出席をいただき、開催されました。

野田副会長の「開会のことば」に始まり、加藤会長の力強い挨拶に続いて、議事の審議がなされました。協議題はすべて承認されました。

○平成二十一年度 会務報告・会計決算報告・監査報告

○平成二十一年度 事業計画予算案

○平成二十一年度 役員承認
役員は、引き続き加藤会長・濱田・大橋・野田副会長が再任され、内田久幸様と安藤公明様が新副会長に選任されました。各役員の皆様は、下記の一覧の通り決定されました。

退任は、これまで本会の発展にご尽力をいただきました古橋睦典副会長、森川肇副会長を始め、十一名の皆様でした。

- 最後に大橋副会長の「閉会のことば」により、無事に総会を終了いたしました。
- 平成二十一年度総会・懇親会
名古屋ガーデンパレス
三月十四日(金)
- 新入会員名簿作成
四月
- 全連退第一回理事会
東京
六月四日(火)
- 岩間前会長・加藤会長
東京
六月五日(水)
- 全連退総会
東京
六月五日(水)
- 加藤会長・古橋副会長・森川副会長・濱田副会長
※土橋会長通夜加藤会長参列(五日)
- 第一回正副会長・常任理事会
校長会事務局
六月十九日(木)
- 県会報十八号、全連退会報一・三号発送
七月
- 十五・十六・十七・十八・十九・二十年
度会員
- 第一回組織活性化小委員会
校長会事務局
七月十四日(月)
- 第二回正副会長・常任理事会
校長会事務局
八月四日(月)
- 講話
愛知県小中学校校長会
会長 太田武司氏
- 第二回組織活性化小委員会
校長会事務局
八月二十九日(金)
- 全連退事務局次長
東京
十月三日(金)
- 大久保事務局次長
東京
十月三日(金)
- 郡市退職校長会活動状況調査依頼(県内全体)
十月十日(金)
- 東海北陸地区協議会
静岡県
十月二十三日(木)
- 野田副会長・大橋副会長
第三回正副会長・常任理事会
校長会事務局
十一月十九日(水)
- 「教育の日」について県教育長と懇談
十月二十六日(水)
- 加藤会長・古橋副会長
県小中学校校長会地域代表者会
入会依頼
十二月三日(水)
- 加藤会長
平成二十一年度役員選考委員会
一月二十一日(水)
- 加藤会長、古橋・森川副会長、常任理事三名
平成二十一年度入会手続き開始
一月
- 県会報十九号発送
二月
十五・十六・十七・十八・十九・二十年
度会員
- 第四回正副会長・常任理事会
校長会事務局
二月二十七日(金)
- 会計監査会
校長会事務局
二月二十七日(金)

平成二十一年度 愛知県退職校長会 役員名簿(敬称略)

會 長	(尾 張)	加藤 善章	大橋 勝
副會長	(尾 張)	濱田 健	橋本 松代
	(名古屋)	大橋 隆行	(三 河)
	(三 河)	内田 久幸	吉田 和代
	(三 河)	野田 正美	夏目 忠士
	(三 河)	安藤 公明	柴田規矩司
支部長	(尾 張)	石井 悦雄	内藤 俊巳
	(名古屋)	小竹 佑一	福應 謙一
	(三 河)	山本 隼彦	監 事
常任理事	(尾 張)	中川 正明	(尾 張)
	(名古屋)	廣瀬 一巳	(名古屋)
	(三 河)	太田 武司	(三 河)
理 事	(尾 張)	加賀 昭一	副支部長
	(尾 張)	加藤 學	(尾 張)
	(尾 張)	渡辺 猶	(名古屋)
	(尾 張)	長尾 英俊	(三 河)
	(名古屋)	榊原 和代	組織活性化小委員
	(名古屋)	名倉 治男	(尾 張)
	(名古屋)	小坂 愛祐	(名古屋)
	(名古屋)	加藤 正躬	(三 河)
			坂田 正俊

『哀悼』岩間敏和先生(前愛知県退職校長会長)

平成二十一年五月十日、岩間敏和先生の訃報に接し愕然。弔問に駆けつけた人々の無念の表情は、先生のご恩徳を物語っていました。

思えば平成十八年三月、先生は愛知県退職校長会長に就任されるや、「現職校長会および教育諸団体との連携」を掲げ、ひたすら退職校長会の活性化に向けて邁進されました。先生の「足踏みすることなく一歩でも前へ進む」の信念は、本会の存在感を高めたこととなく、一歩でも前へ進んだ。その行動力・説得力は全国退職校長会副会長、東海北陸地区協議会長の要職を兼任され、愛知を越えてのご活躍でした。

ここに先生のご遺徳を偲ぶと共に、本会に対するご尽力・ご教示に深く感謝し、哀悼の言葉とさせていただきます。

訃報(内は逝去された年・月・日)

宇野正嗣先生(二十・八・二十六) 元豊田市・下山小
杉浦昭人先生(二十・九・二十三) 元田原市・神戸小
宮田元昶先生(二十・十二・十二) 元一宮市・奥小
ご逝去されました先生方のご冥福をお祈りいたします。なお、この先生方へは、本会より弔電にて弔意を表させていただきました。

副会長
野田 正美

昨今、国は政局に明け暮れ教育を等閑視しており憂慮し

現在は、いらだちの時代とでも言うべきではないか。俺のことを言うな。代わりに、お前のこともとかく言わない。こうした人と人の関わりが、社会に息苦しさやいらだちを醸成している。規範意識がないのではなく「共通の規範」がないのである。

これからの日本の道徳教育は、この「規範」を創ることである。ヒューマンな涙を流

年度 地域	15	16	17	18	19	20	21	計
尾 張	68	93	85	72	72	68	98	556
名古屋	41	65	81	58	66	83	69	463
三 河	83	91	93	63	98	110	101	639
合 計	192	249	259	193	236	261	268	1658

すのは道徳の時間しかない。
これを積み上げ、そのための
教材を開発することである。
第二の仕事は、教育できる
教員を育てることである。
今般の改訂で、教員養成大
学のそのための単位が二単位
となり、危惧している。
全連退のこの面でのご理解
とご支援を期待したい。

理事会・総会余録

懇親会で香川、徳島、熊本
の会長さんと同席した。
さっそく名刺交換し、裏を
見ると、家族で調理を楽しむ
カラー・イラスト画に、「11
月1日くまもと教育の日」と
あり、しばし話題となった。

全国では三十都道府県が教
育の日を制定していると聞く。

平成二十一年度総会が、五月十五日（金）、つるまいプラザ（愛知県勤労会館）で開催され、新しい役員・理事には、次の各氏が選出されました。

愛知県小中学校長会
役員・理事一覧（敬称略）

岡崎 鈴木 栄二(美川中)

「我社の一番の強みと特徴は、資本金の向上を図る仕組みです」



生き生きライフ

釣り

15年度入会 高木 久嗣

(元 津島・藤浪中)

五月の連休明け、息子に誘われ、久し振りにヘラブナ釣りに出掛けた。陽光を浴び、二十数年振りの感触に心踊る一日であった。

自分と釣りとの関わりは、小中学生の頃の住まい近くの川や池でのフナ釣り、新任時代の先輩に誘われてのフナやボラ釣り、海釣り(船)、休職中のヘラブナ釣り、校長時代の仲間誘われての海釣り(筏)、退職後の元同僚に誘われての海釣り(船)である。

ヘラブナ釣りを「静」の釣りと言うならば、海釣りは「動」の釣りと言えるが、いずれにしても、早く釣りたい気持ちを抑えての仕掛けの準備、餌を付けての投入、微妙に動く竿や浮きの動き、ガツンとした手応え、魚との駆け引き、手元へ引き込んだ魚影、引き上げた魚の姿と、どの場面もわくわくどきどき、胸の高鳴りを覚える。これが釣りの醍醐味だろうか、満たされた気持ちになり、何もかも忘れさ

せてくれる。

今年になってからの二、三度の海釣りの計画は、(風波)のため、残念なことに中止となっている。その分、次が非常に楽しみであるし、仲間の再会も楽しみである。

健康のためにも、心の洗濯のためにも、仲間とともに体力の続く限り釣りを楽しみたいものである。

続けていてよかった

18年度入会 大水 正孝

(元 名古屋・旭丘小)

子どもたちの周囲の人に「音痴だねー」と言われたことが契機となって、音楽嫌いで育った。高校入試でも音楽のテストで大失敗。

教員志望を知った先輩が「音楽ができない君に教えらるる子どもたちが可哀想だ」の苦言で一念発起して始めたマンドリン演奏。大学の四年間をひたすらその道に励んだ。合奏の喜びを知り、少しずつ上達すると、好きこそものの上手なれの喩え通りに最も大切な趣味にまでふくらんでしまった。

現職中も、楽器は常に勤務先に置き、子どもたちの前や学区の集まりの会で、演奏す



20年度 定期演奏会 芸創にて

る機会を持った。おかげで楽器も朽ち果てず退職を迎えることができた。

退職を機に、かつて所属していた合奏団体に復帰し、月二回ではあるが合奏練習をして、年に一回の定期演奏会の舞台に立っている。

指の動きが鈍くなり、楽譜が覚えられなくなった今ではあるが、仲間と一つの音楽を作り上げる楽しさをこれからも続けたいと思っている。

健康で心豊かに

21年度入会 市川 誠行

(元 豊橋・栄小)

在職中趣味と呼べるようなものは特にありませんでしたが、退職したらやりたいと思っていたことは、いくつかあります。

その一つは墨彩画です。以



玄関を飾る墨彩画

前同好の方々の作品を拝見し墨の濃淡を基調に彩色を施した味わいのある絵に、心ひかれるものを強く感じました。それ以来、いつか自分の手による色紙で、我が家の玄関を飾りたいと思うようになりました。書も絵もうまくはありませんが、最近真似ごとならぬ落書きをし、独り楽しんでいきます。そろそろ手本を買います。本格的に練習を始めようと考えています。

二つ目はウォーキングです。

今までも時々折季節の草花や野鳥に出会うのを楽しみに、町内を小一時間歩くことがありました。これからはメタボの解消と体力づくりを兼ねて、休日には一万歩を目標に歩こうと思っています。各地で開催されるウォーキング大会にもできたら参加し、自然の中で楽しく足腰を鍛えるつもりです。「年を重ねただけで人は老いない。夢を失った時人は老いる」いつまでも健康で心豊かに過ごしたいと思っています。

事務局だより

執筆していただいた皆様には、短期間にもかかわらずご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。お陰さまで予定通り発行することができました。

事務局は、本年七月一日の異動により、前事務局長の板倉満生が退任し、新次長として前名古屋市長立軒家小学校長の井上唯明が着任しました。従来にも増して、爽やかな対応を心掛けてまいります。

退職校長会の皆様には、会報への投稿や各種問合せ・連絡等の窓口にご活用ください。

- 事務局次長 小出 英一(津島市)
- 事務局次長 大久保慎一(岡崎市)
- 事務局次長 井上 唯明(瀬戸市)
- 事務局員 加藤美津代(清須市)

お詫びと訂正

十九号で森川副会長の挨拶文の中で「集団行動」との記述がありました。が、「集団登校」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

四九の一〇

愛知県教育会館六階

愛知県小中学校長会事務局内

電 〇五二二六二一八二五二

FAX 〇五二二六二一六八〇七

E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp